

第1、 近況、雑感

1. 5月は桜と梅の開花で始まるが、五月病の月でもあります。卒業・入学・就職などで一段落して気が緩むためとの解説もありますが、地球のあちこちで戦火が続き、トランプ狂騒曲の編曲が絶えない毎日、若者たちよ緩んでいる時かと言いたい。戦後80年、なんとか生き延びてきた老人の苦言でしかないか。
2. 米を買ったことのない農水大臣のおかげで、農業の実際を知らずに大臣になれた若様、5kg2,000 円大丈夫か。主食は減らせないが、AI も役立つようになったのだから、まず国会議員・役人・地方議員を半数に減らし、年金財源に充てる時期ではないのか。
3. 5月4日は 寺山修司の命日。今年のように長い連休では資料館に足を運ぶ方は少ないだろうと、勝手に集まりは中止。ビル屋上で、身近な人たちと花見だけの前夜祭。10年前は桜が散って梅の開花の札幌であったが、“梅は咲いたか桜はまだかいな”の本州並になり、気候変動はすでに始まっている。
4. 米だけでなくすべての生活資材が競って値上げしている。テレビは値上げ品目数を“得報”するが、今さら聲く者はいまい。WHOが健康の定義を設けて久しいが、“国民の豊かさ”を1人あたりのGDPに求めていたのは果たして正しかったか。資本主義諸国はそれなりに豊かさを獲得したが、都市の人口集中と農漁村の過疎化も進み、相互扶助の絆、生活の質の向上は、益々遠のく、エンゲル係数上昇。
5. 国家という経済の第一セクターは重要ですが、それ以外の非営利セクター(市場化されにくい、医療・教育・福祉・文化活動)こそが人間の、人間社会、人間形成に大事な、貨幣価値には換算できない人生の豊かさで、最も大事な部分であることは皆が自覚しているところでしょうが、昭和100年、GDPの伸びとは反対の方向に迫いやられる毎日。
6. ついでに言わせていただくと、当方の<MINERA21>などは全く本来のGDPに計上されない個人的人間救援活動と自覚していますが、10年以上値上げなどせず続けて参り、理解してくれる方々にご愛用いただきまいましたが、最後の頑張りとして配送費の負担軽減のために、主にレターパックプラスを使用しての発送を予定しております。現在それに向けたパッケージを検討・作成中のため決定次第、HPなどで御案内させていただきます。

たきます。また諸経費削減のため、郵送等して参りましたこの月報も当社広報を兼ねHPにて公開いたしておりますので、そちらでお読みいただけますようお願いいたします。

7. 来月で 89 歳、約、アバウト 90 歳、もう少し頑張ります。なお、恒例の6月15日の豊作祈願祭は、孫の結婚式で上京不在のため、後日岩内の共同農場開業の集まりに変更させていただきますので、ご承知願います。

第2、 今月の報告文

- ・水道水のメリット・デメリット（久保田昌治）
- ・水筒から解放されたい(瀧波ユカリ、北海道新聞)

第3、 今月の再読本

(3,000 冊以上の積読本を横目に、再読する時間は無いと知りながら)

- ・「食の終焉」 グローバル経済がもたらしたもうひとつの危機
(ポール・ロバーツ、2012.3.8、ダイヤモンド社 3,080 円)
- ・「食の墮落と日本人」 全く不要な 9 割の医療と、イガクムラの詐術
(小泉武夫、2001.6.7、東洋経済 1,650 円)
- ・「短命の食事 長命の食事」ファイトケミカルが健康寿命を伸ばす
(丸元淑生、2007.4.15、ワニブックス 1,650 円)
- ・「チョ普拉博士の老いない『奇跡』『意識パワー』で永遠の若さを生きる
(ディーパック・チョ普拉、2007.8.27、講談社 1,980 円)
- ・「老化はなぜ起こるか」コウモリは老化が遅く、クジラはガンになりにくい
(スティーヴン・N・オースタッド、1999.11.22、草思社 2,090 円)

第4、 今月のことば

- 道に迷うこともあったが、それはある人びとにとっては、もともと本道というものが存在していないからのことだった。(トーマス・マン)
- 君知らずや、人は魚の如し、暗らきに棲み、暗らきに迷ふて、寒むく、食少なく世を送る者なり。(北村透谷)
- 人間は時として、満たされるか満たされないか、わからない欲望のために一生を捧げてしまう。その愚を笑う人は、畢竟、人生に対する路傍の人に過ぎない。(芥川龍之介)

2025 年 5 月 31 日

サンケン環境株式会社

山形 健次郎